

20030179

厚生労働科学研究費補助金
長寿科学総合研究事業

高齢者の終末期ケアを支える地域ケアシステムの構築に関する研究 (H15-長寿-019)

平成15年度 総括研究報告書

主任研究者 村嶋 幸代

分担研究者 川越 博美

高橋龍太郎

山本 則子

永田 智子

平成 16 (2004) 年 4 月

目 次

I. 総括研究報告	
高齢者の終末期ケアを支える地域ケアシステムの構築に関する研究	1
村嶋幸代	
II. 分担研究報告	
1. 高齢者のターミナルケアに関する文献検討	4
永田智子・村嶋幸代・高橋龍太郎・川越博美・山本則子	
小林小百合・宮田乃有（研究協力者）	
資料 表1～5	
2. 全国の訪問看護ステーションにおけるターミナルケアの実態に関する研究	28
村嶋幸代・川越博美・永田智子	
田口敦子・本田亜起子・宮田乃有・近藤由生子（研究協力者）	
資料 表1～7, 図1, 2	
3. 痴呆性高齢者グループホームにおけるターミナルケアの取り組み	37
村嶋幸代・山本則子・永田智子・川越博美・高橋龍太郎	
小林小百合（研究協力者）	
資料1 インタビューガイド	
資料2 施設長宛説明書・同意書	
資料3 ご家族様宛説明書・同意書	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	51
IV. 研究成果の刊行物・別刷	55

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）

I. 総括研究報告書

高齢者の終末期ケアを支える地域ケアシステムの構築に関する研究

主任研究者 村嶋幸代 東京大学大学院医学系研究科地域看護学 教授

研究要旨：

在宅等における高齢者のターミナルケアの現状と今後の課題について検討することを目的として、文献検討、全国の訪問看護ステーションにおけるターミナルケアの実態調査、ターミナルケア実施経験のある痴呆性高齢者グループホームの管理者へのインタビュー調査を行った。

文献検討の結果、海外では、病院、ナーシングホームなどでのターミナルケアを扱った研究、倫理的課題を扱った研究が多く、国内では高齢者施設を対象とした論文は少ないが、報告書レベルでは全国調査が複数行われていた。プログラム評価・介入研究などは国内外共に少なく、今後の課題と考えられた。

全国の訪問看護ステーションにおけるターミナルケアの実態調査では、1ヶ月間に在宅死を経験したステーションは全体の3割であった。85歳以上では、入院して2週間以内の死亡よりも在宅での看取りが多く、悪性新生物による死亡よりもその他の疾患の方が多かった。設立年度、地域区分、開設主体、同一法人内の入院施設の有無、緊急時訪問看護加算などの届出は、在宅での看取りの実施可能性や実施の有無と関連していた。

ターミナルケア実施経験のある痴呆性高齢者グループホームの管理者1名へのインタビュー調査からは、GHでのターミナルケアを可能にする要素として、a.ターミナルケアに焦点を当てた往診医などとの特別な連携体制づくり及びスタッフ教育などGH内部の体制づくり、b.安定した患者の状況、c.看護職がGHにいること、d.ホーム長のターミナルケアに対する特別な熱意、が挙げられた。また、ホーム長によって望ましいと評価されるターミナルのプロセスについても、複数の要素が見出された。

分担研究者

川越博美 聖路加看護大学・教授
高橋龍太郎 東京都老人総合研究所・参事研究員
山本則子 TBI リハビリテーションセンター・研究員
永田智子 東京大学医学系研究科・助手

することを目的とした。

B. 研究方法

1. 文献検討

海外での研究に関しては、Medline (OVID) を用いて、“AGED” * “terminal care” をメインの検索タームとして、2000年以降の文献を検索した。国内での研究に関しては、医学中央雑誌を用いて、「高齢者」*「ターミナル(ケア)」をメインの検索タームとして1999年以降の文献を検索した。また、関連する報告書の収集も行った。

A. 研究目的

本研究では、在宅等における高齢者のターミナルケアの現状と今後の課題について検討

2. 全国調査

全国 3013 箇所のステーションの管理者にアンケート用紙を郵送し、回収された 1897 箇所のうち、1891 箇所を分析対象とした（有効回答率 62.8%）。

3. グループホーム管理者へのインタビュー調査

ターミナルケア実施経験のある GH の管理者 1 名にインタビューした。インタビューはテープに録音し、逐語録を作成してデータとした。継続的比較分析を中心とした質的分析を行い、インタビュー内容を整理した。

C. 結果

1. 文献検討

海外文献では、病院、ナーシングホームなどでのターミナルケアを扱っているものが多く、一部に在宅での取り組みや一般高齢者への意識調査などが見られた。内容は、高齢者自身の意思決定、延命治療の実施の是非、ナーシングホームでのケアの質など、倫理的課題を扱っているものが多かった。

国内での研究に関しては、病院及び在宅をテーマとしたものが多く、高齢者施設を対象とした研究は少なかった。内容は、意識調査が多く、次いで実態調査が見られるが、プログラム評価などの実証研究は少なかった。一方、研究報告書についてみると、高齢者施設を対象とした全国調査が複数行われていた。

2. 全国調査

1 ヶ月間に在宅死を経験したステーションは 31.4% で、65 歳未満の看取りを経験したのは 3% 前後だが、65~84 歳・85 歳以上では、それぞれ約 17% が経験していた。また、入院して 2 週間以内の死亡の割合と比較すると、他の年代に比べて 85 歳以上では在宅での看取りが多かった。また、85 歳以上では悪性新生物による死亡よりもその他の疾患の方が多かった。在宅での看取りが実施可能と答えたステーションは 1772 箇所（93.7%）と多かつ

た。設立年度、地域区分、開設主体、同一法人内の入院施設の有無は、在宅での看取りの実施可能性や実施の有無と関連していた。また、緊急時訪問看護加算などの届出がある方が実施可能性、実施共に多かった。看取りを行ったステーションのうち 50% 弱がターミナルケア加算（療養費）を算定していなかった。計画的訪問については、「日曜日昼間」と「準夜帯」の実施が実施可能性・実施共に有意な関連を示した。

3. グループホーム管理者へのインタビュー調査

GH でのターミナルケアを可能にする要素には、a.ターミナルケアに焦点を当てた往診医などとの特別な連携体制づくり及びスタッフ教育など GH 内部の体制づくり、b.安定した患者の状況、c.看護職が GH にいること、d.ホーム長のターミナルケアに対する特別な熱意、が挙げられた。ホーム長によって望ましいと評価されるターミナルのプロセスには、a.ターミナル期以前の家族との関係形成、b.ターミナルに関する家族中心の意思決定、c.家族のターミナルケアへの参加、d.家庭生活に近い環境づくりのためのケア、といった要素が見出された。

D. 結論

高齢者のターミナルケアの先行研究について、海外では、倫理的課題を取り上げたもの、ナーシングホーム入所者を対象としたものが多かった。一方、国内では、福祉施設・機関におけるターミナルケアを取り上げた論文は少なかったが、報告書レベルでは全国規模の調査が複数行われていた。国内外共に、介入研究・プログラム評価などの研究は少なく、今後の課題と考えられた。

全国の訪問看護ステーションにおいて、85 歳以上の超高齢者では、入院して 2 週間以内の死亡よりも在宅での看取りが多く、悪性新生物による死亡よりもその他の疾患の方が多

かった。設立年度、地域区分、開設主体、同一法人内の入院施設の有無、緊急時訪問看護加算などの届出は、在宅での看取りの実施可能性や実施の有無と関連していた。在宅での看取りを実施するステーションの特徴が改めて示されたと共に、高齢者のターミナルケアについて検討することの意義が示されたと考えられる。

痴呆性高齢者グループホームの管理者へのインタビュー調査からは、GHでのターミナルケアを可能にする要素、および、ホーム長によって望ましいと評価されるターミナルのプロセスの要素が見出された。今回抽出された「患者の状況」「看護職の存在」「ホーム長の熱意」等について、本事例とは異なる条件下でターミナルケアを実施した経験を持つ

GHを対象として、さらにデータ収集と分析をすすめていきたい。また、多角的にGHでのターミナルケアの可能性を検討していく上で、今後は家族やスタッフの視点を把握する必要もあるものと思われる。

F. 健康危険情報

特記事項なし

G. 研究発表

「研究成果の刊行に関する一覧表」にまとめて記載

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）
分担研究報告書

高齢者の終末期ケアを支える地域ケアシステムの構築に関する研究（H15-長寿-019）

Ⅱ-1 高齢者のターミナルケアに関する文献検討

分担研究者	永田智子	東京大学大学院医学系研究科地域看護学	助手
	村嶋幸代	東京大学大学院医学系研究科地域看護学	教授
	高橋龍太郎	東京都老人総合研究所 看護・ヘルスケア部門	参事研究員
	川越博美	聖路加看護大学	教授
	山本則子	TBIリハビリテーションセンター	研究員
研究協力者	小林小百合	東京大学大学院医学系研究科地域看護学	
	宮田乃有	聖路加看護大学	

研究要旨：

高齢者のターミナルケアについて国内外の研究状況を把握するため文献検討を行った。海外での研究に関しては、Medline (OVID)を用いて、“AGED” * “terminal care”をメインの検索タームとして、2000年以降の文献を検索した。その結果、病院、ナースィングホームなどでのターミナルケアを扱っている物が多く、一部に在宅での取り組みや一般高齢者への意識調査などが見られた。内容は、高齢者自身の意思決定、延命治療の実施の是非、ナースィングホームでのケアの質など、倫理的課題を扱っているものが多かった。

国内での研究に関しては、医学中央雑誌を用いて、「高齢者」*「ターミナル（ケア）」をメインの検索タームとして1999年以降の文献を検索した。その結果、病院及び在宅をテーマとした物が多く、高齢者施設を対象とした研究は少なかった。内容は、意識調査が多く、次いで実態調査が見られるが、プログラム評価などの実証研究は少なかった。一方、研究報告書についてみると、高齢者施設を対象とした全国調査が複数行われていた。今後は、特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホームなどの、高齢者施設・機関におけるターミナルケア研究が、さらに推進されていくと考えられた。

A. 目的

高齢者のターミナルケアについての国内外の最近の研究状況を把握することを目的として、英語文献および国内文献の検索・内容の検討を行った。

B. 方法

1. 英語文献

Medline (OVID)を用いて、シソーラス用語である“AGED” * “terminal care”をメイ

ンの検索タームとし、2000年以降でかつAbstractを有する文献を検索した。抽出された文献Abstractを通読し、高齢者がメインの対象になっていないもの、医療技術や薬剤等に関する専門的な知見に関するものなどを除いた上で、入手可能な文献をリストアップした。さらに、入手した文献を通読し、論文の形態、内容、対象などによって分類し、傾向について分析した。

2. 日本語文献

医学中央雑誌を用いて、「高齢者」*「ターミナル(ケア)」を検索タームとして1999年以降の文献を検索した。抽出された文献のうち、抄録があるものを通読し、論文の形態、内容、対象などによって分類し、傾向について分析した。

また、文献検索や情報交換の中で、入手できた高齢者のターミナルケアに関連する報告書を整理し、特に訪問看護ステーションについての全国調査については2件行われていたので、内容の比較検討を行った。

C. 結果

1. 英語文献(表1)

Medline(OVID)1996-2004で、“Terminal Care”では4,702件、“AGED”では458,204件、“Terminal care”AND“Aged”では、1,119件抽出された。さらに、Abstract、English、yr=2000-2004で制限すると、359件が抽出された。抽出された文献Abstractを通読し、高齢者がメインの対象になっていないもの、医療技術や薬剤等に関する専門的な知見に関するものなどを除いた上で、入手可能な文献をリストアップしたところ、93件が抽出された。

この93件について、まず「調査・研究」と「レビュー(解説含む)」に大別したところ、「調査・研究」が63件、「レビュー(解説)」が30件であった。

「調査・研究」を、対象・内容などにより分類したところ、「一般対象の高齢者ターミナルケアに関する意識調査」11件、「高齢患者全般(末期の意思表示、死亡場所、ケアのあり方など含む)」13件、「高齢患者のターミナルケアに関するコスト・サービス利用」5件、「在宅患者に関する研究」3件、「痴呆患者に関する研究」7件、「ナーシングホームでのケア提供に関する研究」22件、「ナーシングホーム利用者における末期の意思決定」2件に分類できた。研究方法としては、質問紙によ

る実態調査、インタビューによる量的研究、インタビューデータを用いた質的研究などが多かったが、「高齢患者のターミナルケアに関するコスト・サービス利用」については既存データ(Medicareデータなど)の再分析が行われていた。また、介入研究としては、対照群を設けたものが1件(「高齢患者全般」に分類、Schwartz CE, Wheeler HB, Hammes B, et al. 2002)、対照群を有しないものが2件見られた。対照群を有する1件は、老年科外来通院患者に対し、訓練されたファシリテーターに相談する機会を設けた群とそうでない群とで、advanced care planning記載にあたり、末期の治療などの理解度がどのように異なるかを調べた研究であり、介入群で理解度が高まったという結果が得られていた。

「レビュー(解説)」については、「高齢患者全般」に関するものが21件、「痴呆患者」に関するものが5件、「ナーシングホーム入所者」に関するものが4件であった。論文の選択基準を明記したレビューは11件で、9件はどちらかという解説に近く、1件は高齢者ケアのスタンダードについて述べたものであった。

93件の論文にそれぞれ使われていた代表的なキーワード(Medlineのシソーラス用語)の数をみると、“nursing homes / homes for the aged”28件、“attitude to health/attitude to death”25件、“decision making”24件、“advance directives”21件、“quality of health care”13件、“ethics (medical, nursing, clinical etc.)”10件、“practice guidelines”7件、“home care services”5件、“withholding treatment”5件、“truth disclosure”4件、“health services for the aged”4件、“home nursing”2件となっており、ナーシングホームに関する論文、健康や死に関する態度についての論文、意思決定に関する論文などが多いことがここからも裏付けられた。

2. 日本語文献 (表2, 3)

医学中央雑誌 (1983-2004) で「高齢者」and「ターミナル (ケア)」を検索し、原著、1999年以降に限定したところ、43件がヒットした。そのうち、がんや医学的治療に限定しているものを除き、37件を分析の対象とした。(表2, 3)

文献を研究対象の「場」(＝ターミナルケアの行われる場)によって分類したところ、病院・病院から在宅が10件、特別養護老人ホーム・老人保健施設が3件、在宅が8件であった。また、対象者の属性別に分類すると、高齢者自身を対象としているのが9件(うち一般高齢者4件、施設入居・サービス利用高齢者3件、特別な属性を持つ高齢者が2件)、介護者・家族が6件、高齢者と介護者を同時に取り上げているのが2件、入院・外来患者が4件、医療従事者が4件、一般対象が5件(うち医学生が2件、一般学生1件)などであった。論文の内容によって分類すると、意識調査が14件と多く、次いで実態調査7件、事例4件、プログラム評価2件であった。

一方、高齢者ターミナルケアに関連する報告書は9冊入手することができた(表4)。このうち、主に在宅高齢者(訪問看護ステーション)に焦点を当てているものは3冊、諸外国の制度に焦点を当てているものが2冊、特別養護老人ホーム、老人保健施設、痴呆性高齢者グループホームに焦点を当てているものは各1冊、高齢者の生活の場全体を取り上げているものは1冊であった。訪問看護ステーションを対象にした3冊のうち2冊と、特別養護老人ホーム、老人保健施設、痴呆性高齢者グループホームを対象とした各1冊は、全国における実態や意向に関する調査を行っていた。このうち、訪問看護ステーションを対象とした研究報告書については、論文としても発表されていたが、その他の調査報告は未発表であり、今後、広く知見を公開してい

くことが求められると考えられた。

訪問看護ステーションの全国調査を含む2冊の報告書について、内容の比較を行った(表5)。調査時期には約2年の差があった。対象は、全数と抽出という違いがあったが、対象数は約3,000で同じであった。知見のうち、在宅死亡率の高さに関連する要因としては、独立型ステーション(病院がグループ内にない)、終末期ケアに積極的などが共通して上がっていた。一方、家族(遺族)の満足度については、「家族の希望が影響。死亡場所が自宅であることだけでは満足度は高まらない」とする知見と、「看取りの満足度は、遺族調査で在宅の方が高い」という知見とに分かれた。また、看護者による「家族の満足度」の評価は、「本人による評価と一致するとは限らない」という知見と、「担当看護師への調査でも同様」という知見とに分かれていた。

D 考察

英語文献では、病院、ナーシングホームなどでのターミナルケアを扱っている物が多く、一部に在宅での取り組みや一般高齢者への意識調査などが見られた。内容は、高齢者自身の意思決定、延命治療の実施の是非、ナーシングホームでのケアの質など、倫理的課題を扱っているものが多かった。また、高齢者への医療全般やターミナルケアに関するコストを扱ったものも見られ、高齢者自身のQOLと社会的コストなどの多方面から、倫理的な問題が扱われていると言えよう。ナーシングホーム入所者やケア提供者に関する論文が非常に多く見られたことは、特に欧米諸国ではナーシングホームなどの福祉施設におけるターミナルケアが広く行われていることの反映であると考えられた。職員の教育が不十分であること、ケアの質に問題があることなどが指摘されているが、中にはそれを改善しようとする試み(教育的介入など)も見られている。日本でも今後、福祉施設を初めとする多

様な施設・機関でのターミナルケアが促進されていくと考えられるが、職員の質や体制などについては、欧米と同様の問題が生じる可能性があり、これらの先行研究は参考になると思われる。

国内論文に関しては、病院及び在宅をテーマとした物が多く、高齢者施設を対象とした研究は少なかった。これは、実際に高齢者施設でのターミナルケアがまだ殆ど行われていない現状を反映していると考えられる。内容としては、意識調査が多く、次いで実態調査が見られるが、プログラム評価などの実証研究は、英語論文と同様少なかった。一方、研究報告書の中には、福祉施設などを対象とした大規模調査の報告があり、病院・在宅以外のターミナルケアの場として、新たな選択肢の模索が進められている現状が見られた。訪問看護ステーションを対象とした研究では、遺族の満足度に関連する要因について、多少異なる見解が示されていた。調査時期の他、質問紙の内容などによっても回答に差が生じる可能性があり、今後の研究においては、先行研究の比較検討を踏まえた準備が必須であ

ることが改めて確認された。

E. 結論

高齢者のターミナルケアについて、英語文献では、倫理的課題を取り上げたもの、ナーシングホーム入所者を対象としたものが多かった。日本語論文では、福祉施設・機関におけるターミナルケアを取り上げたものは少なかったが、報告書レベルでは全国規模の調査が複数行われていた。国内外共に、介入研究・プログラム評価などの研究は少なく、今後の課題と考えられた。

F. 健康危険情報

特記事項なし

G. 研究発表

「研究成果の刊行に関する一覧表」にまとめて記載

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

表1 英語文献一覧

Title	Author	Source	Year	国	key words	方法	対象者	内容
一般対象の高齢ターミナルケアに関する意識調査								
End-of-life issues-preferences and choices of a group of elderly Chinese subjects attending a day care centre in Singapore	Low JA, Ng WC, Yap KB, Chan KM.	Annals Academy of Medicine Singapore.29(1): 50-58	2000	シンガポール	attitude to health (death)/advance directives/ decision making	インタビュー(量的まとめ)	シンガポール華僑(デイケア参加者・高齢者)	シンガポール華僑のend-of-lifeの意向と選択
Dying away from home: Quandaries of migration for elders into two ethnic groups	Becker G.	Journals of Gerontology: Social Sciences.57B(2):S79-	2002	USA	attitude to health (death)	インタビュー、質的	50歳以上のフィリピン人・カンボジア人	移民(高齢者)の死についての思い
Meaning and agency in discussing end-of-life care: a study of elderly veterans' values and interpretations	Young AJ, Oforiboateng T, Rodriguez KL, Plowman JL.	Qualitative Health Research. 13(8), 1039-62	2003	USA	advance directives	インタビュー、質的	退役軍人	高齢退役軍人に対して「end-of-life care」についてのインタビュー、質的研究
Life-sustaining treatments: what do physicians want and do they express their wishes to others?	Gallo JJ, Straton JB, Klag MJ, Meoni LA, Sulmasy DP, Wang NY, Ford DE.	Journal of the American Geriatrics Society. 51(7): 961-9	2003	USA	advance directives	実態調査(質問紙調査)	高齢医師	高齢医師への調査。自分自身のターミナルケアについての意向や、意思表示についての実態
End-of-life decision making: a qualitative study of elderly individuals	Rosenfeld KE, Wenger NS, Kazawa-singer M.	Journal of General Internal Medicine.15(9): 620-625	2000	USA	decision making	質的研究(インタビュー)	一般高齢者(シニアセンターやリタイアメントコミュニティでリクルート)	高齢者の末期の意思決定について、高齢者自身がどう考えているか(質的研究)
Chinese seniors' perspectives on end-of-life decisions	Bowman KW, Singer PA.	Social Science & Medicine. 53(4): 455-64	2001	カナダ	attitude to health (death)/ advance directives/ decision making	質的研究(インタビュー)	一般高齢者(カナダの中国人コミュニティ)	カナダの中国人コミュニティで高齢者にインタビュー。ターミナルの決断について
Values underlying end-of-life decisions: a qualitative approach	Leichtentritt RD, Retting KD.	Health and social work.26(3): 150-9	2001	イスラエル	attitude to health (death)/ withholding treatment/ decision making	質的研究(インタビュー)	一般高齢者	末期の決断についての価値観。高齢者とその家族にインタビュー
Hastening death: a comparison of two end-of-life decisions	Cicirelli VG, MacLean AP, Cox LS.	Death Studies. 24(5): 401-419	2000	USA	attitude to health (death)/ decision making/ treatment refusal	量的研究(シナリオ+他要因)	一般高齢者	5つのシナリオを用い、延命、治療中止、assisted suicideのどれかを選んでもらう。その他に宗教観、価値観、死への恐怖、LOC、健康状態、SESなども調査。
Older adults' attitudes toward death: links to perceptions of health and concerns about end-of-life issues.	Lockhart LK, Boolwala J, Fagerlin A, Coppola KM, Ditto PH, Danks JH, Smucker WD.	Omega-Journal of Death and Dying. 43(4): 331-47	2001	USA	attitude to health (death)	量的研究(質問紙)	一般高齢者	高齢者の死への態度・身体的健康・精神的健康との関連、末期医療との関連についての検討
Preference for place of death in a counting care retirement community	Hays JC, Galanos AN, Palmer TA, McQuold DR, Flint EP.	Gerontologist. 41(1): 123-8	2001	USA	attitude to health (death)/ living wills	量的研究(質問紙)	一般高齢者(リタイアメントコミュニティ)	リタイアメントコミュニティにおける死亡場所の希望
Woman's anxiety in old age and long term care provision for the elderly	Kubota M, Babazono A, Aoyama H.	Acta Medica Okayama. 54(2): 75-83	2000	日本	health services for the aged	量的研究(質問紙)	一般	高齢者と介護についての女性の認識

Title	Author	Source	Year	国	key words	方法	対象者	内容
高齢患者全般(意思表示、死亡場所、ケアのあり方など) Planning for death but not serious future illness: Qualitative study of housebound elderly patients	Carrrese JA, Mullaney JL, Faden RR, Finucane TE.	BMJ, 325(7356): 125	2002	USA	attitude to health (death)/ advance directives	インタビュー、質的	慢性疾患を持つ高齢者20名	慢性疾患を持ち、house-boundの高齢者は、死に向けてどのような準備をしているか
Nursing older dying patients: findings from an ethnographic study of death and dying in elderly care wards	Costello J.	Journal of Advanced Nursing.35(1): 59-68	2001	UK	attitude to health (death)/ truth disclosure	エスノグラフィ	老人病棟入院患者	老人病棟での死と死にゆくこと: エスノグラフィによる参加観察とインタビュー(患者・医師・看護士)
Facilitating end-of-life decision-making: strategies for communicating and assessing	Norton SA, Talerico KA.	Journal of Gerontological Nursing. 26(9): 6-13	2000	USA	attitude to health (death)/ decision making	質的研究(インタビュー)	高齢患者の関係者	末期の決断を促すためには、どのようなコミュニケーションやアセスメントが必要か: 看護士・医師・患者家族へのインタビュー
Early intervention in planning end-of-life care with ambulatory geriatric patients: results of a pilot trial	Schwartz CE, Wheeler HB, Hammes B, Basque N, Edmunds J, Reed G, Ma Y, Li L, Tabloski P, Yanko J, Umass End-of-Life Working Group.	Archives of Internal Medicine. 162(14):1611-8.	2002	USA	attitude to health (death)/ advance directives	介入研究	老年科外来通院患者	事前の意思表示(advanced care planning)について、訓練されたナースやシリアターと相談した群とそうでない群の比較。末期の治療などについての理解度アップ。
The effect of discussions about advance directives on patients' satisfaction with primary care	Tierney WM, Dexter PR, Gramelspacher GP, Perkins AJ, Zhou XH, Wolinsky FD.	Journal of General Internal Medicine.16(1): 32-40	2001	USA	advance directives	介入の後比較	外来患者(高齢者・慢性疾患を持つ50歳以上)	プライマリケアにおける患者満足度(advanced directives)についての話し合いが与える影響
Religion and end of life treatment preferences among geriatric patients	Heeren O, Menon AS, Raskin A, Ruskin P.	International Journal of Geriatric Psychiatry.16(2): 203-	2001	USA	attitude to health (death)	質問紙調査	高齢入院患者	高齢者における宗教と末期Txの希望との関連
Age-related differences in care preferences, treatment decisions, and clinical outcomes of seriously ill hospitalized adults: lessons from physician orders for life-sustaining treatment (POLST): outcomes in a PACE program. Program of All-Inclusive Care for the Elderly	Hanel MB, Lynn J, Teno JM, Covinsky KE, Wu AW, Galanos A, Desbiens NA, Phillips Lee MA, Brummel-Smith K, Meyer J, Drew N, London MR.	Journal of the American Geriatrics Society. 48(5 suppl): s176-82	2000	USA	decision making	大規模研究(SUPPORT)のデータ	一般末期患者	年齢によるケア意向、意思決定、アウトカムの違い
Family perspectives on end-of-life care at the last place of care	Teno JM, Ciarridge BR, Casey V, Welch LC, Wetle T, Shield R, Mor	Journal of the American Geriatrics Society. 48(10): 1219-25	2000	USA	quality of health care/ advance directives/ decision making	大規模研究のデータ	死亡した高齢患者	PACE(高齢者のプロジェクト)における、医師の事前のオーダーと実際の延命Tx実施
Prevalence, effectiveness, and predictors of planning the place of death among older persons followed in community-based long term care	Teno JM, Ciarridge BR, Casey V, Welch LC, Wetle T, Shield R, Mor	JAMA, 291(1):88-93	2004	USA	home nursing/ home care services	大規模な電話調査	高齢患者	死亡場所とそこで受けたケアについての死亡場所調査
Patients' perceptions of physicians' recommendations for comfort care differ by patient age and gender	Leff B, Kaffenbarger KP, Remsburg R.	Journal of the American Geriatrics Society. 48(8): 943-8	2000	USA	community health services/ house calls	質的研究	高齢患者	死亡場所についての高齢者のプランの有無: 医師によるhouse call program後のプランの状況と、それが実際に守られたかどうか
	Johnson MF, Lin M, Mangalik S, Murphy DJ, Kramer AM.	Journal of General Internal Medicine. 15(4): 248-255	2000	USA	decision making	質的研究(インタビュー)	入院中の末期患者	緩和ケアについての医師の勧めをどう認識しているか。年齢・性による違い: 年齢が高く、女性である方が、命令ではなく緩和ケアを勧められたいと感じており、高齢である方が決定を医師に任せやすい

Title	Author	Source	Year	国	key words	方法	対象者	内容
Understanding the treatment preferences of seriously ill patients[see comment]	Fried TR, Bradley EH, Towle VR, Allore H.	New England Journal of Medicine, 346(14): 1061-6	2002	USA	attitude to health (death)/ treatment refusal	量的研究 (質問紙)	がん, CHF, COPDで余命が限られている患者に対し、生命維持装置の希望について調査(そのような弊害があるかによって希望が異なった)	
A "good death" for whom? Quality of spouse's death and psychological distress among older widowed persons	Carr D.	Journal of Health & Social Behavior, 44(2): 215-232	2003	USA	quality of health care	量的研究 (インタビュー調査)	配偶者を亡くした遺族	死別6ヶ月後の配偶者の心理状態に影響を与える要因(最期の日々の配偶者との密接な関係、痛みを伴う経過、医師の意欲という認識など)
高齢患者: コスト								
Age and gender differences in health care utilization and spending for medicare beneficiaries in their last years of life	Bird CE, Shugarman LR, Lynn J.	Journal of Palliative Medicine, 5(5): 705-12	2002	USA	nursing homes (homes for the aged)/ delivery of health care	既存データの分析	メディケア受給者	末期のメディケア使用状況。性・年齢による相違
Disease-specific patterns of hospice and related healthcare use in an incidence cohort of seriously ill elderly patients	Iwashyna TJ, Zhang JX, Christakis NA.	Journal of Palliative Medicine, 5(4): 531-8	2002	USA	health services needs and demand/ LOS/ patient transfer	既存データの分析	末期高齢患者	高齢者のホスピスetcの利用パターン。疾患ごとに
Influence of age on Medicare expenditures and medical care in the last year of life	Levinson NG, Yu W, Ash A, Moskowitz M, Gazelle G, Saynina O, Emanuel EJ.	JAMA, 286(11): 1349-55	2001	USA	health expenditures	既存データの分析	全般	末期のメディケア使用と医療ケアに年齢が与える影響: 高齢者(特に85歳以上)では、アグレッシブな治療が減少するため、メディケア使用が減る
Profiles of older medicare decedents	Lunney JR, Lynn J, Hogan C.	Journal of the American Geriatrics Society, 50(6): 1108-12	2002	USA	health expenditure	既存データの分析	メディケア受給者	メディケア受給者(高齢者)の死亡プロフィール: trajectoryによるパターン分け(突然死・ターミナル疾患・臓器機能不全・虚弱)とそれによるコスト終末期にかけているコスト。高齢者、女性で少ない?!
Why is less money spent on health care for the elderly than for the rest of the population? Health care rationing in German hospitals	Brockmann H.	Social Science & Medicine, 55(4): 593-608	2002	ドイツ	health services for the aged	既存データの分析	高齢者全体	

Title	Author	Source	Year	国	key words	方法	対象者	内容
在宅患者								
Age-related differences in patients admitted to a palliative home care service.	De Conno F, Boffi R, Brunelli C, Panzeri C.	Tumori, 88(2):117-22.	2002	イタリア	health services accessibility	記録からデータ抜き出し	在宅緩和ケアサービスを利用した癌患者	年齢による違い
Angels of the night: evening and night patrols for homebound elders in Sweden (What to do when the end is near: ethical issues in home health care nursing.	Malmberg B, Ernsth M, Larsson B, Zant SH, Ladd RE, Pasquerella L, Smith S.	Gerontologists, 43(5): 781-5 Public Health Nursing, 17(2):103-10.	2003 2000	Sweden USA	home care services/ home care services/ advance directives/ ethics (medical, nursing, clinical etc.)	実態調査 シナリオを用いた検討	NSとHHAによる夜間patrol 在宅高齢患者	主に高齢者に対する夜間巡回(patrol)の実態。対象にはターミナル訪問看護師が直面する倫理的・法的問題を、家族も含めて検討
痴呆患者								
Can multidisciplinary guidelines improve the palliation of symptoms in the terminal phase of dementia?	Lloyd-Williams M, Payne S.	Journal of Palliative Nursing, 8(8): 370-5	2002	UK	practice guidelines	介入、前後比較	痴呆末期患者	痴呆の末期患者の症状緩和、ガイドラインの効果
End-of-life care and the effects of bereavement on family caregivers of persons with dementia	Schultz R, Mendelsohn AB, Haley WE, Mahoney D, Allen RS, Zhang S, Thompson L, Belle SH, Resources for Enhancing Alzheimer's Caregiver Health	New England Journal of Medicine, 349(20):1936-42.	2003	USA	home care services/ attitude to health (death)	構造化インタビュー タビュラー	痴呆患者	痴呆患者の終末期ケアについて:選族調査
Which level of care is preferred for end-stage dementia? Survey of Taiwanese caregivers.	Chen WT, Wang SJ, Lu SR, Fuh JL.	Journal of Geriatric Psychiatry & Neurology, 15(1):16-9	2002	台湾	attitude to health (death)	質問紙調査	痴呆患者の介護者	終末期にどのようなケアを望むか→欧米よりも、蘇生を望む傾向が強く、施設入所は拒否的。
Scales for evaluation of end-of-life care in dementia	Volicer L, Hurley AC, Blasi ZV.	Alzheimer Disease & Associated Disorders, 15(4):164-200 Journal of the American Geriatrics Society, 49(3): 313-6	2001	USA	consumer satisfaction/ quality assurance, health care decision support systems/ patient advocacy	スケール開発 ツール作成とその評価(事前・事後)	痴呆患者	痴呆患者のターミナルケアを評価するスケールの開発 認知機能障害を持つ高齢者におけるPEG実施についての決断補助ツール開発と有効性検証(代理人に対して)
A decision aid for long-term tube feeding in cognitively impaired older persons	Mitchell SL, Tetroe J, O'Connor AM.	International Journal of Geriatric Psychiatry, 18(2), 169-73 American Journal of Hospice & Palliative Care, 20(3):191-200.	2003	UK	attitude to health (death)/ decision making	質的研究(質問紙)	痴呆患者の介護者と精神科医	末期痴呆患者への治療について:介護者と精神科医への調査
The attitude of carers and old age psychiatrists towards the treatment of potentially fatal events in end-stage dementia	Coetsee RH, Leask SJ, Jones RG.	International Journal of Geriatric Psychiatry, 18(2), 169-73	2003	UK	attitude to health (death)/ decision making	質的研究(質問紙)	痴呆患者の介護者と精神科医	末期痴呆患者への治療について:介護者と精神科医への調査
Characteristics of dementia end-of-life care across care settings.	Volicer L, Hurley AC, Blasi ZV.	American Journal of Hospice & Palliative Care, 20(3):191-200.	2003	USA	quality of health care/ home care services	質的研究(相関研究)	痴呆患者	痴呆患者への末期ケアの実施状況と、療養場所などとの関連を検討。 Caregiver Assessment Regarding End-of-Life in Dementia Q

Title	Author	Source	Year	国	key words	方法	対象者	内容
NHでのケア提供について								
Dehydration in terminally ill patients: Perspectives of long-term care nurses	Critchlow J. Bauer-Wu SM.	Journal of Gerontological Nursing, 28(12): 31-9	2002	USA	decision making	アンケート調査	介護施設ナース	介護施設ナースの、終末期の脱水状態についての認識: 認識はまちまち。年齢高いナースの方が脱水をbeneficialと見ている
Needs of the dying in nursing homes.	Reynolds K. Henderson M. Schulman A. Hanson LC.	Journal of Palliative Medicine, 5(6):895-901	2002	USA	nursing homes (homes for the aged)	インタビュー(量的・質的)	ナーシングホームでの死亡患者	死亡後、家族と職員に、患者のもつ死にたい症状やニーズについて尋ねた
The experience of dying: an ethnographic nursing home study.	Kayser-Jones J.	Gerontologist, 42 Spec No 3:11-9.	2002	USA	quality of health care/ nursing homes (homes for the aged)/ attitude to health (death)	エスノグラフィ	ナーシングホームの入居者	ナーシングホームケアの実態
Decisions to treat or not to treat pneumonia in demented psychogeriatric nursing home patients: development of a guideline	van der Steen JT. Muller MT. Ooms ME. van der Wal G. Ribbe MW.	Journal of Medical Ethics, 26(2):114-20	2000	オランダ	practice guidelines/ nursing homes (homes for the aged)/ decision making	ガイドライン作成	ナーシングホームの医師	痴呆を有するナーシングホーム入居者の肺炎を治療するかどうかを決めるためのガイドライン
Elective discontinuation of life-sustaining mechanical ventilation on a chronic ventilator unit.	Ankrom M. Zelesnick L. Barofsky I. Georas S. Finucane TE. Greenough WB 3rd.	Journal of the American Geriatrics Society, 49(11):1549-54.	2001	USA	nursing homes (homes for the aged)/ advance directives/ withholding treatment	記述的研究	機械的に人工呼吸器を使用していた、NHの死亡患者	ターミナル期の治療中止について
Does hospice have a role in nursing home care at the end of life?	Casarett DJ. Hirschman KB. Henry MR.	Journal of the American Geriatrics Society, 49(11):1493-8.	2001	USA	nursing homes (homes for the aged)	記録のレビュー、レトロスペクティブ	ホスピスケア利用者(ナーシングホーム入居者vs自宅療養者)	両者を比較して、ホームにおけるホスピスケアニーズを明らかにする
Hospital care at the end of life: an institutional assessment.	Jacobs LG. Bonuck K. Burton W. Mulvihill M.	Journal of Pain & Symptom Management, 24(3):291-8.	2002	USA	quality of health care	グループインタビューとチャートレビュー	施設医師・看護師、死亡患者とその家族	末期ケアについての施設の「文化」を明らかにし、質改善のプログラムを構築
Factors that influence end-of-life care in nursing homes: the physical environment, inadequate staffing, and lack of supervision.	Kayser-Jones J. Scheil E. Lyons W. Kris AE. Chan J. Beard RL.	Gerontologist, 43 Spec No 2:76-84.	2003	USA	nursing homes (homes for the aged)	参加観察、インタビュー、イベント分析	ナーシングホーム入居者	ホームの物理的環境と組織要因が末期ケアに与える影響
The quality of terminal care in residential and nursing homes.	Komaromy C. Sidell M. Katz JT.	International Journal of Palliative Nursing, 6(4): 192-200	2000	UK	quality of health care/ nursing homes (homes for the aged)	実態調査、インタビュー、ケーススタディ	ナーシングホーム入居者	NHetcでのターミナルケアの質(実態調査、インタビュ、ケーススタディ)
Malnutrition, dehydration, and starvation in the midst of plenty: the political impact of qualitative inquiry.	Kayser-Jones J.	Qualitative Health Research, 12(10):1391-405.	2002	USA	quality of health care/ nursing homes (homes for the aged)	質的研究(学会講演)	ナーシングホーム入居者	ホームでのケアは、個別ケアの不足、嚥下障害や口腔ケアへの注意不足、スタッフ不足や専門家のスーパービジョンの欠如が低栄養、脱水、体重減少を起していることなど
This is Heaven's waiting room: end of life in one nursing home.	Forbes S.	Journal of Gerontological Nursing, 27(11):37-45.	2001	USA	nursing homes (homes for the aged)/ attitude to health (death)	質的研究(インタビュー、参加観察、記録閲覧)	ナーシングホーム入居者	ナーシングホームにおける末期ケアの実態、欠けているものを提示

Title	Author	Source	Year	国	key words	方法	対象者	内容
Dying in long-term care facilities: support needs of other residents, relatives, and staff.	Katz JS, Sidell M, Komaromy C.	American Journal of Hospice & Palliative Care, 18(5):321-6.	2001	UK	practice guidelines/ nursing homes (homes for the aged)/ decision making/ attitude to health (death)/ quality assurance, health care	質的研究 (記述研究)	高齢者施設のスタッフ・入所者家族・他の入所者	左記の人々のサポートニーズと充足度を探っている
Decisions to treat or not to treat pneumonia in demented psychogeriatric nursing home patients: evaluation of a guideline.	van der Steen JT, Ooms ME, Ribbe MW, van der Wal G.	Alzheimer Disease & Associated Disorders, 15(3):119-28 (comment in p.118)	2001	オランダ	practice guidelines/ nursing homes (homes for the aged)/ decision making	質問紙調査	ナーシングホームの医師	No.38のガイドラインの妥当性と使いやすさについての質問紙調査
A case study of the death of an older woman in a nursing home: are nursing care practices in compliance with ethical guidelines?	Kayser-Jones J.	Journal of Gerontological Nursing, 26(9):48-54.	2000	USA	quality of health care/ practice guidelines/ nursing homes (homes for the aged)	シングルケーススタディ	ナーシングホーム入居者	101歳の入居者への倫理的に問題のある処遇: 飲食ができないのに放置、「座らせきり」で擲刺
The last 48 hours of life in long term care: A focused chart audit	Hall P, Schroder C, Weaver L.	Journal of the American Geriatrics Society, 50(3): 501-6	2002	カナダ	nursing homes (homes for the aged)	チャートレビュー	NH入所者	介護施設でのターミナルチャートレビュー(死亡前48時間の症状・ケアなど)
Hospitalization patterns and palliation in the last year of life among residents in long-term care.	Travis SS, Loving G, McClanahan L, Bernard M.	Gerontologist, 41(2):153-60.	2001	USA	nursing homes (homes for the aged)/ advance directives/ decision making	チャートレビュー・質・費・量	ナーシングホーム入居者	治療から緩和ケアへの移行はスムーズにいていない。本人・家族・ケアチームの意思決定が重要
A support group for nursing assistants: caring for nursing home residents at the end of life	Burack OR, Chichin ER.	Geriatric Nursing, 22(6):299-305	2001	USA	nursing homes (homes for the aged)	調査と介入 (対照なし)	NHのcertified nursing assistant	NHのcertified nursing assistant (CNA)への調査とグループセッションの有用性
As individual as death itself: a focus group study of terminal care in nursing homes.	Hanson LC, Henderson M, Menon M.	Journal of Palliative Medicine, 5(1):117-25.	2002	USA	quality of health care/ nursing homes (homes for the aged)/ attitude to health (death)	フォーカスグループインタビュー	ナーシングホームスタッフ	ホームでの良いターミナルケアの定義とその促進要因・阻害要因
Assessing the educational needs and concerns of nursing home staff regarding end-of-life care.	Ersek M, Kraybill BM, Hansberry J.	Journal of Gerontological Nursing, 26(10):16-26.	2000	USA	nursing homes (homes for the aged)	フォーカスグループインタビュー	ナーシングホームの看護スタッフ	末期ケアに関する教育ニーズ
Reforming care for persons near the end of life: the promise of quality improvement.	Lynn J, Nolan K, Kabaceneil A, Weissman D, Milne C, Berwick DM, End-of-Life Care Consensus Panel.	Annals of Internal Medicine, 137(2):117-22.	2002	USA	nursing homes (homes for the aged)/ advance directives/ quality assurance, health care	複数のケーススタディ	ナーシングホーム入居者へのケア提供者	終末期ケアの質を向上させるためのPlan-Do-Study-Act Cycleの取り組み
Tending the soul as well as the body: spiritual care in nursing and residential homes	Orchard H, Clark D.	International Journal of Palliative nursing, 7(11): 541-6	2001	カナダ	nursing homes (homes for the aged)	質的研究 (質問紙)	NH	NH, ResidentialHomeでのスピリチュアルケアがどのように行われているか
Promoting a good death for persons with dementia in nursing facilities: family caregivers' perspectives.	Bosek MS, Lowry E, Lindeman DA, Burck JR, Gwyther LP.	JONA's Healthcare Law, Ethics, & Regulation, 5(2):34-41.	2003	USA	quality of health care/ nursing homes (homes for the aged)/ attitude to health (death)/ decision making	質的研究 (小規模、記述)	高齢者ケア施設に入所している痴呆患者	遺族調査

Title	Author	Source	Year	国	key words	方法	対象者	内容
NH入所者の意思決定								
Advance care planning and end-of-life care for hospitalized nursing home residents.	Happ MB, Capezuti E, Strumpf NE, Wagner L, Cunningham S, Evans L, Maislin G.	Journal of the American Geriatrics Society, 50(5):829-35.	2002	USA	nursing homes (homes for the aged)/ advance directives	記録のレビュー、フィードバックノート	ナーシングホームから死亡6週以内に入院した患者	終末期の治療に関する意思決定や実際の末期医療が十分に行われていない
Stability of preferences regarding life-sustaining treatment: a two-year prospective study of nursing home residents.	McParland E, Likourezos A, Chichin E, Castor T, Paris BE, BE.	Mount Sinai Journal of Medicine, 70(2):85-92.	2003	USA	nursing homes (homes for the aged)/ advance directives/ decision making	前向き研究、インタビュー	ナーシングホーム入居者	終末期治療に関する意思決定は、時間の経過によって変化する

Title	Author	Source	Year	国	key words	方法	対象者	内容
レビュー: 高齢患者全般								
Are we using percutaneous endoscopic gastrostomy appropriately in the elderly?	Skelly RH.	Current Opinion in Clinical Nutrition & Metabolic Care. 5(1): 35-42	2002	UK	ethics (medical, nursing, clinical etc.)	レビュー	高齢患者全般	高齢患者へのPEG造設は適切に行われているか: 先行研究のレビュー、倫理的問題の検討、PEG造設のdecision treeの提示
Ethical issues relating to the use of antimicrobial therapy in older adults	Marcus EL, Clarfield AM, Moses AE.	Clinical Infectious Diseases. 33(10): 1697-705	2001	イスラエル	attitude to health (death)/ ethics (medical, nursing, withholding treatment/ decision making	レビュー	高齢(末期)患者	高齢患者への抗生剤投与の是非について: 実態、患者・家族・医療者の意向などの先行研究と倫理的問題
Parenteral hydration and nutrition in the geriatric patient: clinical and ethical issues	Mion LC, O'Connell A	Journal of Infusion Nursing. 26(3): 144-52	2003	USA	quality of health care/ home nursing	レビュー	末期の高齢者・痴呆患者	高齢者・痴呆患者の末期の点滴について
What impact do setting and transition have on the quality of life at the end of life and the quality of the dying process?	Mezey M, Dubler NN, Mitty E, Brody AA.	Gerontologists. 42 Spec. No.3 54-67	2002	USA	quality of health care	レビュー	痴呆患者	高齢患者の末期のQOLと死にゆくプロセスの質に対する、死亡場所による影響
What is known about the economics of end-of life care for medicare beneficiaries?	Burtin MB, Huskamp H.	Gerontologists. 42 Spec No.3 40-8	2002	USA	quality of health care	レビュー	Medicare受給者	Medicare受給者のターミナルケアの経済面について: Medicareでは十分カバーできない、など
End-of-life care for older adults in ICUs.	Bages JG.	Annual Review of Nursing Research. 20, 181-229	2002	USA	Professional-Family Relations/ ICU	レビュー	高齢のICU患者	高齢末期患者のICUでの看取りについて「病院での末期ケアの現状とあり方」「ICUでの高齢患者の死亡に影響する要因」「急性期ケアにおける死亡患者の家族にとって重要なこと」「ICUで死にゆく患者をケアする医療従事者にとって重要なこと」などの視点で整理
Advances in pain management for older adult patients	Abraham JL.	Clinics in Geriatric Medicine. 16(2):269-	2000	USA	pain management	レビュー(解説)	高齢患者	高齢患者における疼痛管理
Care of patients nearing death: another view	Finucane TE.	Journal of the American Geriatrics Society. 50(3):551-3	2002	USA	death/ human	レビュー(解説)	一般	末期患者のケアについて: 一般に言われている法的・技術的・侵襲的介入よりも、死にゆく人々へのSympathyが最重要
Caregiving issues in the geriatric medical encounter	Silliman RA.	Clinics in Geriatric Medicine. 16(1): 51-60	2000	USA	health services for the aged	レビュー(解説)	高齢患者	高齢者介護について(一部ターミナル含む)
Death and dying: management of patients with end-stage disease	Leland JY.	Clinics in Geriatric Medicine. 16(4): 875-	2000	USA	nursing homes (homes for the aged)	レビュー(解説)	高齢末期患者	高齢者に対するターミナルケア(経過、症状緩和など)
Depression and the dying older patient	Lander M, Wilson K, Chochinov HM.	Clinics in Geriatric Medicine. 16(2):335-	2000	カナダ	depression	レビュー(解説)	高齢末期患者	死にゆく高齢患者における「うつ」
End-of-life care in the critically ill geriatric population	Mularski RA, Osborne ML.	Critical Care Clinics. 19(4): 789-810	2003	USA	health services for the aged/ withholding treatment	レビュー(解説)	高齢ICU患者	高齢者に対するICUケアについて
End-of-life ethical issues in Japan	Davis AJ, Konishi E.	Geriatric nursing. 21(2):89-91	2000	日本	truth disclosure/ ethics (medical, nursing, clinical etc.)/ informed	レビュー(解説)	高齢者全体	日本の高齢者におけるend-of-lifeの倫理的問題
Factors contributing to the quality of end-of-life care	Baines BK, Norlander L.	Journal of the American Academy of Nurse Practitioners. 12(11): 472-4	2000	USA	quality of health care/ advance directives/ continuity of patient care/ health policy	レビュー(解説)	高齢患者一般	高齢者のターミナルケア: advance directives, 末期についての情報提供など

Title	Author	Source	Year	国	key words	方法	対象者	内容
Special challenges of withholding artificial nutrition and hydration	Daly BJ.	Journal of Gerontological Nursing. 26(9): 25-31	2000	USA	practice guidelines/ attitude to health (death)/ withholding treatment/ decision making	レビュー(解説)	高齢末期患者	高齢者の人工栄養/水分補給について:その功利と倫理的課題
Informing older patients of a terminal illness	Atkinson K.	Professional Nurse. 15(5): 343-346	2000	UK	truth disclosure/ ethics (medical, nursing, clinical etc.)	レビュー(解説)	高齢患者	高齢患者への末期疾患の告知:その必要性について
Ethical challenges in end-of-life therapies in the elderly	Gordon M.	Drugs & Aging. 19(5): 321-9	2002	カナダ	decision making/ ethics (medical, nursing, clinical etc.)	レビュー(解説)とケーススタディ	高齢者全体	高齢者の終末期の治療についての倫理的challenge
Physician-older patient communication at the end of life	Siegler EL, Levin BW.	Clinics in Geriatric Medicine. 16(1): 175-204	2000	USA	attitude to health (death)/ advance directives/ truth disclosure	レビュー(解説)とケーススタディ	高齢患者	医師と高齢患者とのEOLLについてのコミュニケーション
Talking to the older adult about advance directives	Fischer GS, Arnold RM, Tulskey JA.	Clinics in Geriatric Medicine. 16(2):239-54	2000	USA	advance directives/ decision making	レビュー(解説)とケーススタディ	高齢患者	高齢患者とadvance directivesについて話すことについて
The many faces of pain for older, dying adults	Gibson MC, Schroder C.	American Journal of Hospice & Palliative Care. 18(1): 19-25	2001	カナダ	attitude of health personnel/ needs assessment/ pain management	レビュー(解説)とケーススタディ	高齢末期患者	高齢者のターミナルにおける"痛み"
Standards of care in geriatric practice. [Review] [24 refs]	Luchi RJ, Gammack JK, Narcisse VJ 3rd, Storey CP Jr.	Annual Review of Medicine. 54:185-96, 2003.	2003	USA	practice guidelines/ ethics (medical, nursing, clinical etc.)	高齢者ケアのスタンダード提示	高齢者全体	11のスタンダードのうち、⑨末期ケア ⑩緩和ケア ⑪ホスピス

Title	Author	Source	Year	国	key words	方法	対象者	内容
レビュー：痴呆患者								
Artificial nutrition and hydration in the patient with advanced dementia: is withholding treatment compatible with traditional Judaism?	Gillick MR.	Journal of Medical Ethics. 27(1): 12-5	2001	USA	life support care/ treatment refusal	レビュー	進行痴呆患者(ユダヤ教徒)	進行痴呆患者の人工栄養と水分補給(ユダヤ教において)
End-of-life care of persons with dementia	Michel JP, Pautex S, Zekry D, Zulian G, Gold G.	Journal of Gerontology: Medical Sciences. 57A(10):	2002	スイス	ethics (medical, nursing, clinical etc.)	レビュー	痴呆患者	痴呆患者の末期ケア: 合併症・死因の分析と、派生する倫理的問題や介護者へのケアなどについて
Ethics and dementia: mapping the literature by bibliometric analysis	Baldwin C, Hughes J, Hope T, Jacoby R, Ziebland S.	International Journal of Geriatric Psychiatry. 18(1), 41-	2003	UK	decision making/ ethics (medical, nursing, clinical etc.)	レビュー	痴呆患者	痴呆患者と倫理についての統計的レビュー(トピックスごとに年代別比較, など)
Advance directives and dementia	Rempusheski VF, Hurley AC.	Journal of Gerontological Nursing. 26(10): 27-34	2000	USA	attitude to health (death)/ advance directives/ decision making/ ethics (medical, nursing, clinical etc.)/ patient advocacy	レビュー(解説)	痴呆患者	痴呆患者の advance directives: ナースの果たすべき役割, など
Management of severe Alzheimer's disease and end-of-life issues	Volicer L.	Clinics in geriatric medicine. 17(2): 377-	2001	USA	advance directives/ decision making	レビュー(解説)	痴呆患者	アルツハイマー患者への医療・ケアと末期の問題
レビュー：ナーシングホーム								
Advance care planning in long-term care facilities	Cantor MD, Pearlman RA.	Journal of the American Medical Directors Association. 4(2), 101-8	2003	USA	nursing homes (homes for the aged)/ advance directives/ decision making	レビュー	NH入所者	介護施設での「advance care planning 華前の意思表明」についてのレビュー
Teaching communication skills to nursing home certified nursing assistants.	Winchester TA.	Geriatric Nursing. 24(3):178-81.	2003	USA	nursing homes (homes for the aged)	レビュー	ナーシングホームの看護補助者	末期患者とのコミュニケーションスキルのナーシング方法について
Care for dying people in nursing homes.	Sander R, Russell P.	Nursing Older People. 13(2): 21-25	2001	UK	nursing homes (homes for the aged)	レビュー(解説)	NH入所者	NHでのターミナルケアに関するポイントについて解説
Obstacles to palliation and end-of-life care in a long-term care facility.	Travis SS, Bernard M, Dixon S, McAuley WJ, Loving G, McClanahan	Gerontologist. 42(3):342-9.	2002	USA	nursing homes (homes for the aged)/ advance directives	レビュー、質的・量的研究	ナーシングホーム入居者	ホームでの症状緩和と末期ケアの提供への障壁として、4点挙げている

表2 医学中央雑誌(1983-2004) 検索結果

キーワード(シソーラス)

① 高齢者	74072 件
② ターミナル	10095 件
③ ターミナルケア	10545 件
④ 高齢者&ターミナル	387 件
⑤ 高齢者&ターミナルケア	394 件
⑥ 高齢者&ターミナル&原著	86 件
⑦ 高齢者&ターミナルケア&原著	84 件

⑥&⑦	90 件
うち、1999年以降の文献	43 件
うち、がん、治療法を除く	37 件



「場」による分類

病院	9	
病院から在宅	1	
特養	1	
老健	2	
在宅 (うち、訪問看護利用を前提)	8 (5)	
地域	4	
特養と老人ホームと地域	1	
英国	1	重複あり、不明除く

「対象者」による分類

介護者・家族	6	
高齢者と介護者	2	
施設入居・サービス利用高齢者	3	
入院・外来患者	4	
一般高齢者	4	
特殊高齢者	2	
一般人	2	
医学生	2	
一般学生	1	
医療従事者	4	
訪問看護ステーション	1	
市町村	1	重複あり、不明除く

論文の内容

実態調査	7	
意識調査	14	
事例	4	
プログラム評価	2	重複あり、不明除く